

様式第4のト (第4条、第5条関係)

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式		(1)							
製造事業所名		(2)							
危険物 (3)	類別			側面 枠 (8)	当 て 板	材質記号			
	品名					材料	引張り強さ	N/mm ²	
	化学名					板	厚	mm	
	比重				防 護 枠 (9)	材 料	材質記号		
断面形状			引張り強さ	N/mm ²					
タンク 元 (4)	内測寸法	長さ	mm		閉 装 鎖 置 (10)	板	厚	mm	
		幅	mm				自動閉鎖装置	有・無	
		高さ	mm			手動閉鎖装置	有・無		
	最大容量	ℓ		吐出口の位置		(11) 左右後			
	タンク室の容量	ℓ		レバーの位置		(12) 左右後			
	材 料	材質記号			底弁損傷防止方法		(13)		
		引張り強さ	N/mm ²		接地導線		有(長さ(14)m)・無		
板 厚	胴板	mm		緊 結 装 置 (15)	緊締金具 (すみ金具)		有・無		
	鏡板	mm			U ボ ルト	材質記号			
	間仕切板	mm				引張り強さ	N/mm ²		
防 波 板 (5)	材 料	材質記号			箱 枠 (16)	材 料	材質記号		
		引張り強さ	N/mm ²				引張り強さ	N/mm ²	
	板厚	mm		薬剤の種類					
	面積比 $\frac{\text{防波板面積}}{\text{タンク断面積}} \times 100$	%		消 火 器		薬剤量	kg	kg	
タンクの最大常用圧力 (6)		kPa		個 数 (17)	個数		個	個	
安 装 置 (7)	作動圧力	kPa			可燃性蒸気回収設備		(18) 有・無		
側 面 枠 (8)	材 料	材質記号			給油設備 (19)		有(航空機・船舶)・無		
		引張り強さ	N/mm ²		備 考 (20)				
	板厚	mm							
	取付角度								
接地角度									

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

移動タンク貯蔵所構造設備明細書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1)車名及び型式	車両製造メーカー名及び車検証に記載されている型式を記入します。
(2)製造事業所名	車両を用いて、タンク等をぎ装して移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入します。
(3)危険物	タンクに貯蔵するすべての危険物を記入します。 ※化学名は、通常化学名が用いられない物品の場合、通称名を記入します。
(4)タンク緒元	それぞれ該当する箇所を記入します。材質は、J I S 記号により記入します。
(5)防波板	該当する箇所を全て記入します。なお、材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入します。
(6)タンクの最大常用圧力	最大常用圧力は、その数値を記入します。
(7)安全装置	設置されるすべての安全装置が同じ性能である場合は、まとめて記入します。
(8)側面枠	それぞれ該当する箇所を記入します。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入します。
(9)防護枠	それぞれ該当する箇所を記入します。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入します。
(10)閉鎖装置	該当する項目を○で囲むよう記入します。
(11)吐出口の位置	該当する項目を○で囲むよう記入します。
(12)レバーの位置	該当する項目を○で囲むよう記入します。 ※レバーは、緊急停止レバーのことをいいます。
(13)底弁損傷防止方法	配管の屈曲、フレキシブルチューブ、可とう結合金具等、その取付け内容を記入します。
(14)接地導線	有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合括弧内に接地導線の長さを記入します。
(15)緊結装置	積載式移動タンク貯蔵所の場合に該当する項目を記入します。
(16)箱枠	タンクコンテナ等の箱枠を有するタンクの場合に該当する項目を記入します。
(17)消火器	車両等に取り付けられる消火器について、該当する項目を記入します。
(18)可燃性蒸気回収設備	有・無のいずれかを○で囲むよう記入します。
(19)給油設備	有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合は括弧内の該当しないものを二重線で抹消します。
(20)備 考	特殊な移動タンク貯蔵所である場合等、その他必要な事項を記入します。 (例) 加熱設備有り、冷却装置有り

※該当がない項目は、斜線又は「なし」等を記入し、空欄が無いようにしてください。